

受験番号:37IPCN007

**【問 1】**

**【書類名】** 特許請求の範囲

**【請求項 1】**

デジタル通貨による電気料金支払装置であって、

電力網サーバがユーザの料金支払単位に応じて対応する初期インタフェースを生成させるための生成モジュールと、

前記電力網サーバが前記初期インタフェース毎に、対応する電気料金表示テンプレートとウォレット表示テンプレートを作成させ、電力データベース中から、対応される料金支払単位の電気料金情報を抽出して、前記電気料金表示テンプレートに記入し、銀行データベース中から、前記ユーザのデジタル通貨情報を抽出して前記ウォレット表示テンプレートに記入した後、クライアント側に送信してデータインタラクションを行うことにより、前記初期インタフェースに対してカスタマイズ処理を行うインタラクションモジュールと

前記ユーザが前記クライアント側に基づいて、ある前記電気料金表示テンプレートを選択し、対応される支払う予定の電気料金情報を入力したと判断された場合、前記電力網サーバは、前記支払う予定の電気料金情報に基づいて対応される支払情報を生成して前記銀行サーバに送信する送信モジュールと

を含むことを特徴とするデジタル通貨による電気料金支払装置。

**【請求項 2】**

前記初期インタフェースは、少なくとも 1 つの表示領域を含み、前記表示領域ごとに 1 つの前記料金支払単位に対応すること、

を特徴とする請求項 1 に記載のデジタル通貨による電気料金支払装置。

**【問 2】**

**【背景技術】**

科学技術の継続的な発展に伴い、各種エネルギーに対する人々の需要も益々高まっている。既存技術では、三元系正極材料をリチウム電池の正極材料として使用してきたが、既存技術における三元系正極材料表層のリチウムイオン反応活性が比較的が高い。これにより三元系正極材料は、生産、貯蔵または輸送の過程でその表層または表層に近い格子中のリチウムイオンが空気中の水または二酸化炭素と絶えずに反応するため、表層または表層に近い格子のリチウムの消耗をもたらしてしまい、しかもその反応生成物が三元系正極材料の表面を覆うことになる。被覆された表面のアルカリ性は絶えずに上昇することで、さらにリチウム電池の正極のレート特性に影響を与えることにより、既存技術で提供されている三

元系正極材料の空気安定性を悪化させる。

そのため、空気安定性がより良いリチウム電池正極材料を如何に提供することは、当分野の技術者にとって早急に解決すべき問題となっている。

### 【問 3】

#### 【発明を実施するための形態】

図 1 及び図 2 に示すように、本発明による安全弁における弁の位置測定装置は、ハウジング 1、プッシュロッド 2 及び検出ユニットを含む。

ハウジング 1 の内部には格納チャンバが設けられ、格納チャンバの片側に貫通口が開けられている。プッシュロッド 2 は貫通口を通して設置され、かつその一部分が格納チャンバ内に格納されている。プッシュロッド 2 の外側は貫通口から突出し、かつ安全弁の弁ロッド 8 の傾斜面に当接する。検出ユニットは、磁石 3 と、磁極コイル 4 と弁の位置の信号回路 5 とを含む。磁石 3 と磁極コイル 4 は格納チャンバ内に格納されて、磁石 3 はプッシュロッド 2 に連結されて、磁極コイル 4 は磁石 3 の周囲を取り囲んでいる。弁ロッド 8 が鉛直方向に沿って移動すると、その傾斜面によりプッシュロッドが水平方向に移動し、これにより、さらに、磁極コイル 4 がインダクタンス値の変化を生じるように、磁極コイル 4 の中心軸線に沿って磁石 3 を移動させることができる。弁の位置信号回路 5 は、磁極コイル 4 のインダクタンス値変化に応じて弁の位置変化信号を出力するための磁極コイル 4 と電氣的に接続されている。